

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	眼球水平軸指標としての瞼裂斑の有用性
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学病院 眼科学 佐々木 洋
研究参加拒否 申込受付期間	2026年6月1日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2027年 3月 31日
対象者	2019年1月～2019年9月までの間に、当院眼科で白内障手術を受けられた方
当該研究の意義・ 目的	座位から仰臥位にかけて、90%の患者で少なからず眼球回旋が起こると言われています。回旋方向も内方と外方があり、平均約3度の回旋が起こるとされています。また対象の約5%の人に10度以上の大きな回旋があることが報告されています。 私達は眼球回旋に関わる因子を検討しており、眼球の水平軸方向の評価を行っています。私たちが屋外活動時に浴びる紫外線が原因とされ、眼球結膜（白目部分）に黄色あるいは茶色の少し隆起したシミが発症しこれを瞼裂斑と呼びます。過去に一般人を対象に行った疫学調査では、中高齢者の約6割に瞼裂斑があることが確認されています。今回はこの瞼裂斑をターゲットに、その位置や長さについて評価し、眼球回旋の指標となるかを検討します。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	本研究は、術前検査時に瞼裂斑が確認できた対象者に限ります。白内障手術前検査で撮影した前眼部写真を収集し、得られた画像データから瞼裂斑の位置（角度）や大きさを解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。日本屈折矯正手術学会により、上記期間中に得られたデータを本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。前眼部画像以外にも下記の情報をカルテより取得します。 情報：年齢 性別 過去の病歴 カルテ番号 等 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。 この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。

資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定していません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 眼科学 佐々木 優 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（23415）

作成日：2026年4月20日